



2009～10 年度
国際ロータリー会長
ジョン・ケニー

Weekly Report Niigata



2009～10 年度
新潟ロータリー会長
小林 敬直



ロータリーの未来は
あなたの手の中に

2009～2010 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC 5 月第2例会 (2010.5.18) No.2848

(1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

(2) 小林 敬直会長挨拶

ジョージ・フリードマン著の100年予測

世界最強のインテリジェンス企業が示す未来覇権地図という本を紹介しします。

本の帯には「2009 年 1 月 アマゾン・ベスト・オブ・マンズ」獲得と出ておりますので、そこそこ売れた本であると思えます。

これからの 100 年、世界の政治・経済・社会・文化はどのように変貌していくのか？ “影の CIA”の異名をとる情報機関「ストラトフォー」の CEO が、今後 100 年の世界情勢を予測する。ということになっております。

しかし、100 年後にはこの中のだれもそれを確認することができません。

その内容は、ざっとお話しすると、

21 世紀は米国の時代になる。それは、米国が大西洋と太平洋に同時に権力を誇示できる北米大陸に位置し、米海軍が世界中の海を支配していることによる。

今後、先進国ばかりか開発途上国でも出生率の低下が進み、「人口爆発」は終焉する。こうした人口構造の変化は人々の生き方、そして国家の行動にも影響を及ぼす。中国は、ここ 30 年で飛躍的な経済成長を遂げた。だが、この成長はいずれ終わり、政情不安が広がる。その結果、中央政府が弱体化し、毛沢東時代以前の状態に戻る可能性が高い。

資源輸出国として生まれ変わったロシアは、軍事力を強化する。このロシアの動きに米国が反応し、再び冷戦が起こる。今回の冷戦は小規模だが、前回と同じく、ロシアの自壊で幕を閉じる。

中国の衰退、ロシアの崩壊を機に、ユーラシア大陸では、日本、トルコ、ポーランドが勢力を伸ばしていく。米国は、こうした動き、特に日本とトルコの2つの地域大国がまとまってユーラシアの覇権的勢力になることを危惧する。そして最終的に、米国と日本・トルコは戦争へと向かう。

21 世紀後半、米国は失業率の上昇に伴って移民を制限するようになる。これは、国境地帯のメキシコ人住民に大きな打撃を与え、深刻な外交上の問題が生じる。

メキシコは、今世紀の中頃には、経済規模で世界6, 7位に位置する経済大国となる。そして、米国の北米支配に対し挑戦する。というお話でございます。信ずるかどうかは皆様のご判断ですが、興味をお持ちになりましたら、ぜひ御一読下さい。

(3) 一年交換学生 ステファノ君挨拶・お小遣い伝達

(4) 委員会報告

・小柳実野球部監督 5月16日 前橋クラブとの親善試合に19名で参戦。最終回に1点入れ 10対9で新潟が勝利しました。

・斎藤庫之丞さんへ第1回米山功労者感謝状贈呈

・塚田 正幸さんへ第5回米山功労者マルチプル感謝状贈呈

・樋熊 紀雄さんへ第6回米山功労者マルチプル感謝状贈呈

(5) 幹事報告（石井 和弘幹事）

- ・緑の羽根募金に 10916 円のご協力を頂きました。
- ・5月22日地区協議会が上越デュオセレッソで開催されます。バスを利用される方は万代シルバーホテル前 7：30 古町十字路7：35 出発です。名札は会場で石川治彦次期幹事よりお受け取り願います。

(6) 会員スピーチ「2010 規定審議会報告」

小 山 楯 夫 君

5月25日の例会予定

卓話「にいがた地域映像アーカイブ」
新潟大学人文学部准教授 中村 隆志氏

ホームページを更新致しました！

新潟ロータリークラブ ホームページアドレス

<http://www.niigataarc.jp/>